静岡市認証 認知症カフェ
第１１９号 令和8年６月21日

毎月第三日曜日

楽しい話し合い・相談・情報交換ができる

オレンジカフェ静岡

６月21日　午後2時～4時（参加費100円）

６月の
ミニ講話

「今、私にできること」防災について一緒に考えてみませんか？

静岡県防災士
日本防災士機構防災士
石川佳代子さん

石川佳代子さん
静岡県防災士
日本防災士機構防災士

「なぜ防災をやろうと思ったのか？」とよく聞かれることがあるのです。

実は最初「防災をやらなければ」と全く思ったことはありませんでした。伏線と言えば、中学生のころ「点字部」に所属し、高校生のころJRC（青少年赤十字）という部活に入っていましたことでしょうか。そういう活動に興味はありました。とは言っても、当時はボランティアといったら点字、手話、施設訪問のような福祉的なことが中心で、「防災」「災害」という言葉はありませんでした。

阪神大震災が発生するまで、日本では大きな地震災害って発生していませんでした。阪神大震災が「災害ボランティア元年」といわれるくらいですから。それから四〇年余りの月日が経ち、これが奇跡のような偶然の出会いから伏線回収されることになったわけです。きっかけって不思議なものですね。

時期は東日本大震災の後、内容をあまり把握せず友人に誘われて参加したセミナー、会社での東日本大震災への対応、自治会への参加、ほぼ同時期に私の前に起きたいくつかの点が線となり、防災へと導かれて今に至っています。

時々運命的なことを考えるほどの奇跡の出会いでした。今回はそんな出会いから防災について学んだことを少し皆様にお話ししてみたいと思っています。

10周年記念特集

ポスター制作　岩﨑友花さん　中学３年生
3歳の時からボランティアとして活躍しています

開店十周年を迎えて

松田　純
NPO法人ヒューマン・ケア支援機構理事長

オレンジカフェ静岡は二〇一六年一月に静岡市で初めて開設された認知症カフェです。今年で開店から十年を迎えます。これまでに一二〇回開催され、認知症の人を含む来店者やボランティア、のべ約五千名の方々が参加しました。こんにちまでカフェの運営を続けることができましたのは、ひとえに皆様の温かいご支援のおかげです。毎月お見えになる皆様や、献身的に努めてくださるボランティアの方々、ハピスポという素晴らしい施設を無償で貸してくださっている静和会様にこの機会に心より御礼申し上げます。

十年前は、認知症に対する社会一般の理解はまだ充分ではありませんでした。この十年で、認知症に対する社会全体の理解は大きく変化しました。そのことは地域に住んでいても肌身で感じられます。認知症の方が団地の中を歩いていると、知り合いの人が隣に並んで、世間話をしながら一緒に歩いてくれ、道に迷ったり危険がないように、そっと寄り添ってくれている姿を目にすることがあります。

「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が制定され（二〇二四年一月施行）、国も「認知症施策推進基本計画」（同年十二月）を策定し、「新しい認知症観」に基づく施策を推進しています。「新しい認知症観」とは、認知症になったら何もできなくなるのではなく、認知症になってからも、一人一人が個人としてできること・やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間等とつながりながら、希望を持って自分らしく暮らし続けることができるという考え方です。

誰もが認知症になりうることを前提に、一人一人が自分ごととして「新しい認知症観」を理解することが求められています。今後とも皆様のご支援ご協力を得ながら、共生社会の実現のために努めてまいりたいと考えております。

新　著
・『ケースで学ぶ 認知症ケアの倫理と法』
　共編著、南山堂
・翻訳　ヘーゲル
　『歴史哲学最終講義』
　ちくま学芸文庫
・翻訳 ヘーゲル
　『宗教哲学講義』
　講談社学術文庫

認知症施策の十年を振り返る

岩﨑　稔
社会福祉法人静和会
常務理事・事務局長

二人の娘さん（上記ボスター制作者の友花さんと妹の小3の遥加さん）は、年少ボランティアとして活躍していただいています。

認知症施策のこの十年は、「保護・管理」から「共生」へと社会が大きく転換した歩みでした。

かつて絶望と偏見の中にいた当事者の中から、「オレンジカフェ静岡」でもお招きした丹野智文さん、下坂厚さん、さとうみきさん、樋口直美さんなどの方達が、今では自らの言葉で思いを発信するようになりました。「保護される対象」から希望を持って生きる存在へと変わり、その前向きな姿が当事者や社会の意識を変革しています。

家族もまた、孤独な介護の不安から解放されつつあります。様々な支援者や家族同士との関わりの中から、「一人で抱え込まない」環境が増え、さりげないサポートを受けられる温かい地域社会も徐々に育ってきました。

そして支援現場の意識も変わりました。安全を優先した「管理」から、ご本人の意思を尊重し、共に歩む「伴走者」へと役割を再認識し、医療・介護・地域が連携するネットワークが作られています。

（三面下段に続きます）

店長とスタッフの交代

三月に、前店長の山村さんが静和会の地域総括責任者になられたため、川畠さんが新店長になりました。また、前スタッフの八木さんが特別養護老人ホーム丸子の里の施設長になられたため、松本さんが新しいスタッフになりました。

人と人がつながる温かな居場所を目指して

新店長　川畠竜一郎

四月より四代目店長を務めることとなりました川畠と申します。このカフェを通じ、ご来場いただいた皆さまが安心して集い、笑顔で交流できる場を大切にしていきたいと思っております。

共に学び、語り合い、支え合える温かな居場所となるよう努めてまいります。

店長 川畠竜一郎さん

スタッフ 松本達希さん

川畠さんプロフィール

社会福祉法人静和会
葵区統括マネージャー

【出身地】宮崎県都城市
【尊敬する人】松下幸之助
【好きな言葉】頭は低く目は高く、口を慎んで心広く、孝を原点として他を益する
【スポーツ歴】サッカー・極真空手
【最近達成した事】
懸垂 100 回（1日）

松本さんプロフィール

社会福祉法人静和会
主任 生活相談員兼介護職員

【出身地】静岡県藤枝市
【尊敬する人】普段からどんなことにもめげずに挑戦している人
【好きな言葉】日進月歩
【スポーツ歴】ソフトテニス
【最近の趣味】押し活をしながら旅行するのが好きです

今後もよろしくお願いいたします

前店長　山村　明敏

オレンジカフェ静岡の店長を多くの方々の支えをいただきながら、今年三月までさせていただきました。自分にとって、オレンジカフェ静岡で過ごした時間は、多くの方との出会いを通して、自分自身を成長させていただいた貴重な時間でした。

オレンジカフェ静岡に参加する皆さま方には、今後も、ミニ講話や声のワークショップ、認知症についての話し合い、参加者同士の交流など、オレンジカフェ静岡をよろしくお願い致します。

前店長 山村明敏さん

前スタッフ
八木和真さん

大勢の皆さまに支えられての10年
こころから感謝申し上げます

この間にご参加いただいた多くの皆様、お力を賜ったボランティア、スタッフの皆さまに心から感謝申し上げます。

休業を余儀なくされましたのはコロナ禍です。他のカフェが軒並み閉鎖する中、当時、上智大学の客員教授であられた浜渦辰二さんが店長になって、約３年にわたりオンラインカフェを開催してくださいました。またスマホ教室をご提案、ご指導いただきました。正真正銘の10周年を迎え、改めて感謝申し上げます。

認知症支援の草分け「絆の会」会長の望月恵子さん、松田富美子さん、看護師の大塚みち子さん、浜渦保美さん、小山優姫奈さん、鈴木伸子さんにはボランティアとして、この間、ずっとお力をお貸しいただいています。心から感謝申し上げます。 皆さま、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。 （初代店長 小島）

望月恵子さん

浜渦辰二さん

（二面からの続き）

一方で、老老介護やヤングケアラーなど家族の多様化への対応、現場の人材不足、未だ残る偏見など課題は山積しています。静和会では、当事者、家族、支援者、そして地域が一体となり、世代も病気も障がいも、ケアする・されるの関係性も、「ごちゃまぜな共生社会」の実現へ次の十年に向けて歩みを進めてまいります。

“上藤美紀代”の声のワークショップ

- ヴォイスセラピー実践研究家
- 絵本専門士
- 医療系専門学校講師
- 元 SBS アナウンサー

§　認知症を語り合う会の報告　§

認知症についてのさまざまな疑問などが出され、意見交換をしました。

当日ミニ講話をして下さった堀友輔さんにも加わっていただき、適切なアドバイスをいただきました。

認知症の人を地域で支えていく社会的取り組みはもちろん重要ですが、認知症の進行を抑制する効果的な新薬が出たので、不安に思ったら早めに診察をしてもらうことが重要です。

かかりつけ医などから認知症疾患医療センター（静岡市三か所）に紹介してもらうのがよいでしょう。

今後のオレンジカフェ予定

令和８年７月１９日（日）
夏を乗り切る食事
～夏バテ予防は食事から～
海瀬　幸さん
社会福祉法人静和会
特別養護老人ホーム丸子の里
管理栄養士

令和８年８月１６日（日）
松園温子さん
静岡リハビリテーション病院
リハビリテーション部
理学療法士

令和８年９月２０日（日）
弓削幸恵さん
NPO 法人まちなびや

カフェのプログラム

一、ミニ講話　石川佳代子さん
　質疑応答
二、声のワークショップ　上藤美紀代　さん
　認知症を語り合う会　二階会議室
（二、はご希望のところにご参加ください）

個別相談

今月は伝馬町横内地域包括支援センターから、佐藤　遥香さん（看護師）がオレンジカフェ静岡にいらして、相談にのってくださいます。

会場の写真

会　場　静岡市葵区城東町 34-14

城東コミュニティプラザ HapiSpo（ハピスポデイ和かな）

会場提供　**社会福祉法人静和会**

共　催

NPO 法人ヒューマン・ケア支援機構

社会福祉法人静和会

連絡先　☎ 090-8731-7647（岩崎）
✉ shizuoka.orangecafe@gmail.com

バス：静岡駅北口、5,6 番からのすべてのバス・で横内町静岡学園前または巴町下車。徒歩 5 分